

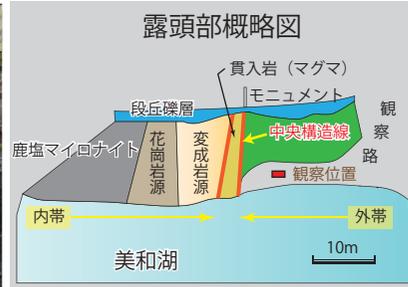
みぞくち ろとう  
**溝口露頭**

マグマ貫入が見られる中央構造線露頭

美和ダム湖中央部（長谷溝口、神田橋のすぐ上流）にある吊り橋の右岸側に位置する中央構造線露頭。この露頭では、内帯の領家帯側には非持トータル岩・砂泥質片麻岩が露出し、外帯の三波川変成帯の間に、地質境界の中央構造線が観察できる。両者は断層運動を受けて断層破碎岩や断層粘土になっている。さらに中央構造線に沿って、約1500万年前に貫入している幅4mの珪長質岩脈がみられる。南方を遠望すると分杭峠の断層鞍部が眺望でき、周辺は中央構造線公園として整備されている。



美和湖の中央部に露出している地層



中央構造線公園として散策路が整備されている



分杭峠から美和湖方向を望む谷筋に中央構造線を見ることができる

information

□ アクセス  
伊那ICから20km  
車→40分

□ 所在地  
伊那市長谷溝口



（国土地理院の数値地図50000地図画像を使用）

地質を学ぶ



- **露頭**：地層や岩石が直接露出している崖や河床のこと。
- **中央構造線**：西南日本の中央部を横断する我が国で最も長大で重要な構造線（断層）。
- **領家変成帯/三波川変成帯**：中央構造線により北側の内帯（領家変成帯）と南側の外帯（三波川変成帯）に変成岩帯が分かれている。名称はいずれも地名に由来する。
- **断層岩**：断層に沿って、地下深くまで両側の岩石が変成岩（断層運動による高い圧力や温度により、新しい鉱物や組織がつくられ姿や形をかえた岩石）となっている。